

市政を問う!

17 議員が登壇 (一般質問)

災害危険区域について



湯 浅 正 司

湯浅 災害危険区域とはどのようなものか、詳細な説明を求める。

高木総務課長 災害危険区域につ

いては、土砂災害防止法に基づく指定と、浸水被害防止のための建築基準法に基づく指定の2とおりに分類されます。土砂災害防止法に基づく指定については、平成11年6月、死者24名、山腹の崩壊箇所300余を記録した広島豪雨災害を起因とし法制化されたものであり、危険の周知や警戒避難体制の整備、併せて住宅等の新築や増築に際し、区域指定を行ない一定の制限を加えることによって土砂災害から地域住民の命を守ろうとするものです。熊本県の場合、指定は熊本県の砂防部局が担当し、現地調査、地域住民への説明、意見を徴収した上で指定となります。対象となる地域は、土砂災害危険渓流沿い、急傾斜地崩壊危険箇所等であり、土砂災害危険区域（イ

エローゾーン）と土砂災害特別危険区域（レッドゾーン）に分類されます。

井建設課長 建設基準法に基づく

災害危険区域は定めがあり、地方公共団体で津波、高潮、出水といった水関係です。危険の著しい区域を災害危険区域として指定できることになっており、また、危険区域に指定した場合、住居の建設の禁止、その他、建築物の建設に関する制限が災害の防止上必要なものは規制できるとなっています。

湯浅 指定は、地域の皆さんとお互い納得したうえで進めた方がよいのでは。

総務課長 行政として一番悲しい

ことは自然災害により尊い市民の命や財産が失われることであり、実際平成24年の災害の際にも、最前線での惨状を目の当たりにしました。あの惨状、悲しい思いを二度と繰り返さないためには、地域のいろいろな意見があったとしても、説明をきちんと行った上で、災害危険区域を指定し、将来に亘る安全を確保することが行政の責任であり、九州北部豪雨災害を経験した私たちの使命であると思います。市民の命を今後も守り続けます。

合併から十年、課題と施策について



田 中 則 次

ケートを行なうなど課題把握に努めるとともに、区長会のご意見を伺いながら慎重に進めたいと思います。

田中 学校統合が進む中、全国的な問題でもあると思うが、財源も含めて国・県への要望であるとか、跡地を含めた自治体独自の施策は展開されないのか。

佐藤市長 公共施設の跡地利用、どこでも悩みの種であり、市としてもしつかり取り組んで参ります。

田中 市を縦断する8m道路の建設が進む中、宮地・坂梨の区間は、様々な条件で休止している。小学校の統合もあり交通量も増えると思われるので、何らかの手立てが必要ではないか。また、同時に横軸である東区、分区の道路整備計画は。

井建設課長 国交省のトンネルもありますので、今後の状況を見ながら、検討、判断しております。

田中 仙酔峡ロープウェイが休止して四年半、これから先の考えは。

吉良観光まちづくり課長 今後の方を含め、検討会を設置し、国・県との相談も進めたいと思っております。

他に、「腐食が進む行政棟の一部、議会棟の建設計画について」、「少子化が進む中での公営住宅（建て替えを含む）について」の質問がありました。

高齢者福祉の充実を



川 端 忠 義

川端 阿蘇市民の3人に1人が65歳以上の高齢者です。高齢者が希望を持って、生き生きと暮らしていくためには、高齢者福祉の充実が必要である。高齢者が良く利用する公民館のバリアフリー化や多目的トイレの設置状況はどうか。

日田教育課長 公立公民館は5施設です。古城及び中通公民館は、多目的トイレ、玄関スロープは設置済み。阿蘇公民館はスロープのみ設置済み。その他の公民館は、まだ設置されていない状況です。

川端 高齢者のいきいき教室や介護予防等には、地区の公民館（集会所）などで、どの程度行われているか。

岩下ほけん課長 地区公民館や地区集会所を中心に約90ヶ所の施設を使って、年に1回から2回実施しています。

川端 地区公民館（集会所）の整備は、どうなっているか。

教育課長 地区集会所施設整備補助金の予算の範囲内で、施設整備

にかかる助成を図り、地域の生涯学習の拠点として、施設の充実を図っていただいています。

川端 乗合タクシーの運行で、帰宅の下車は自宅前にしてはどうか。

宮崎財政課長 現時点では、停留所の増設や主要生活道路上の乗降箇所の増設などに対応することが適当と考えております。

川端 阿蘇市の養護老人ホームの整備は、どうなっているのか。

山口福祉課長 3回の公募で応募がなかったため、根本的に方針を見直す必要があります。

川端 阿蘇市の社会福祉協議会が整備・運営したらどうか。

福祉課長 運営検討委員会に、その意見も含めて提案したいと思います。

他に、「介護保険制度について」の質問がありました。



乗合タクシー

内牧・黒川千丁線災害道路建設計画について



田中 弘子

田中 前回の質問で、5年～10年の月日がかかると言われたが、これからの実行計画があれば。

井建設課長 幹線道路から内牧中央線、スーパーみやはらがあります交差点の所を結ぶ計画で、延長1600メートルを予定しております。災害時に、幹線道路と内牧市街地を結ぶための道路と位置付けをしました。今後の計画ということで、用地測量、幅杭と地権者への確認をし、用地交渉に入っていきたいと思っています。又地質調査の結果、地盤の強度が不足しており、期間中盛土をし、地盤固めを予定しております。

田中 建物がかかる場所、スーパーみやはら交差点信号は、どのような対策をとるのか。

建設課長 基本的には農地買収をし、宅地等にはかけないような設計を造りたいと思っています。又、みやはら付近の交差点については、十字路を予定しております。

田中 道は人を動かします。一日も

早い着工を願うが。

建設課長

出来るだけ円滑な事業推進に努めていきたいと思っています。

小・中学校への苦情に関する

電話番号及び内容について

田中 保護者、地域からのコールで、一ヶ月でどれ位あるのか。

日田教育課長

4月～8月末まで、いじめに関する苦情は1件、生徒指導は2件、その他3件ということでした。

佐藤市長

子どもは阿蘇市の宝であり、大きな夢と希望のもてる健全な児童生徒を育成することが私たちの役目です。子どもたちが切磋琢磨し互いを認め合いながら大きく成長できるよう、行政としてもハード面だけでなくソフト面においても教育環境を整え進めていきます。



計画道路接続予定の三差路

老朽化した公共施設の処分について



市 原 新

市原 旧遊雀小学校の校舎は、解体する方向で検討しているとの事であるが、現在どのように検討しているのか。また、体育館、プールについては。

園田教育部長

遊雀小学校跡、榎木野小学校跡の解体については、現在教育財産としての利活用は考えられず、跡地利用委員会に諮って、地元の意向を聞き、28年度以降に解体する方向で検討しています。

吉良観光まちづくり課長

遊雀小学校体育館は、木材加工場として利用してきたが、既に機械も撤去しています。地域からの要望があり、公的利用を原則として地域に開放しています。

市原

体育館の屋根の腐食が進んで、雨漏りも考えられるが。

観光まちづくり課長

調査しております。

市原

調査し対応してもらいたい。榎木野小学校体育館には、上寿園の備品が保管されているが、保管の期限は。

教育部長

品物がどれだけ入っているか確認していません。関係課と協議をし、速やかに対処したいと思っています。

家屋被災防止対策について

市原

旧阿蘇町、旧一の宮町については、過去に例のない痛ましい大災害で、河道の改修、遊水池の設置、輪中堤、宅地の嵩上げ等計画が順調に実施されているが、波野地区の家屋被災防止対策は、どうなっているのか。

井建設課長

河川の氾濫によって、大道地区の家屋浸水被害があったので、泉谷川の護岸の嵩上げ、兩岸それぞれ1m予定しています。延長が940mで3年をめどに本年度から工事を予定しています。

他に、「農地災害復旧工事について」の質問がありました。



波野駅前橋から見た泉谷川